

社団法人環境情報科学センター主催
PRTR2008特別賞 受賞講演

埼玉県モデル事業 県民主導型
リスクコミュニケーション実施報告

彩の国環境大学修了生の会
新木 壽三雄

2009.2.2
都市センターホテル



彩の国環境大学修了生の会

会の概要

埼玉県環境科学国際センターが開講する彩の国環境大学修了生有志が環境活動と会員相互の情報交換を目的として運営する市民団体

* 設立 平成10年3月

* 会員数 141名(2008.6.28現在)

埼玉県環境科学国際センター

環境に係る試験研究、環境問題に取り組む県民の支援、環境面での国際貢献等、多数の機能を有した環境科学の総合・中核の機関です。

* センターが持つ4つの機能



環境科学国際センターパンフより抜粋



環境科学国際センター(展示館)
(パンフより)



環境学習風景
(講師は当会
会員)

* 設置・運営 埼玉県

* 開設 平成12年

* 所在地 騎西町上種足914

* Tel. 0480-73-8331

* <http://www.pref.saitama.lg.jp/A09/BA30/cess.html>

彩の国環境大学

人間の活動と環境の関わりに理解を深め、環境に配慮したライフスタイルや社会経済システムを学習し、同時に循環型社会を構築するために環境保全活動や環境学習活動のリーダーを育成するため、埼玉県が開設

【平成20年度概要】

* 過程と募集人員

・基礎(60名、土曜) ・実践課程(50名 平日、土曜 各25名)

* 申込資格

・県内在住、在勤、在学 ・18歳以上
・環境保全活動や環境学習活動に意欲があること

* 開講式9月6日(土) * 閉講式12月6日(土)

* 授業10回(2回 / 1日)

* 受講料 無料

* 会場 埼玉県環境科学国際センター



彩の国環境大学(開講式
と授業風景)(パンフより)

彩の国環境大学修了生の会の活動概要

公開講演の開催や行政及び他団体との連携による活動や
研究成果等の発表と市民への啓発活動

会員例会・研修会の開催

(会員の活動報告、学習会、環境施設見学会、公開講座など)

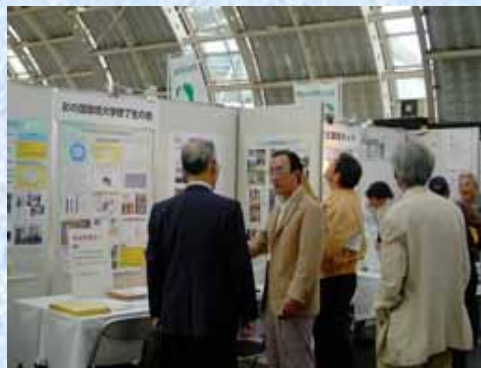
分科会活動

5つの分科会(地球温暖化防止・ごみ・**化学物質**・自然環境・環境教育)
による学習、各種調査・研究および環境維持・改善活動等

会報「彩・環境大学通信」を年4回発行



公開講演会



イベントでの展示



企業見学会

化学物質分科会

化学物質による環境(健康)リスクの低減のため、産官学民の協働による活動を推進すべく彩の国環境大学修了生の会の分科会として、平成17年度に発足した。

分科会員数 16名

主な活動

【リスクコミュニケーション事業の推進】

- ・平成17,18,19年度 埼玉県実施の県民主導型モデル事業への参加
- ・20年度はモデル事業終了のため独自事業として推進中

【環境(健康)リスクの低減のためのPR活動】

- ・研修会、各種イベントで講演、展示によるリスコミ事業のPR
- ・埼玉県化学物質円卓会議への参加(18,19年度)

【会員の勉強会・研究会】

- ・定例会(1回/月)での外部講師、会員による勉強会等
- ・他団体リスコミの傍聴や講演会への参加

県民主導型リスコミ(埼玉県モデル事業)で 修了生の会が推進したリスコミの特徴

〔一般のリスコミ〕

- * 行政・事業所主導
- * 事業所周辺住民
- * 生産段階の問題(事業所の化学物質排出量に注目)
生産・流通・消費(使用)・廃棄の各段階での問題
(事業所の排出量に加え、取扱量にも注目)
- * 企業の役割・責任

〔修了生の会のリスコミ〕

- 県民主導
- 消費者(県民)
- 消費者の役割・責任を
プラス

商品のライフサイクル全体で(環境)リスク
を削減するために製造者は勿論消費者の役
割も考慮したリスクコミュニケーション

【リスクコミュニケーション事業の推進】

埼玉県モデル事業県民主導型 リスコミの実績

	平成17年度	平成18年度	平成19年度
事業所	関東レザー(株) 清久工場様	(株)資生堂 久喜工場様	東京インキ(株) 吉野原工場様
主製品	壁紙	トイレタリー製品・他	色材製品各種
実施日	H17.11.8	H19.3.20	H20.2.13
円卓参加者	23名 ・学識者 2名 ・事業所側 6名 ・行政 6名 ・会員 9名	24名 ・学識者 1名 ・事業所側 6名 ・行政 5名 ・会員 12名	24名 ・事業所 8名 ・行政 5名 ・会員 11名
傍聴者	数名	約50名	21名(事業所員を含)
座長	東大大学院教授 柳澤幸雄先生	明治大学教授 北野大先生	県環境部青空再生課 高橋和彦課長
備考	平成19年6月 フォローアップリスコ ミを実施	平成21年春 フォローアップリスコ ミ実施を予定	-

* 平成20年度は大正製薬(株)大宮工場様にてH21年2月18日実施予定⁸

リスクコミュニケーション実施に当たって 当会が掲げたスローガン

* 平成17年度 【関東レザー(株) 清久工場様】

私たちも(消費者も)環境リスクメーカー

* 平成18年度 【(株)資生堂久喜工場様】

身近な化学物質から環境・健康リスク

低減を考える

* 平成19年度 【東京インキ(株)吉野原工場様】

身近なものに使われている

「インキ」や「着色剤」から化学物質の

役割と環境リスクを考える

平成19年度実施例 東京インキ(株)吉野原工場様

リスコミ開催の準備 (1)

県のモデル事業への指定申請と決定
事業者への依頼と決定

- 第1回勉強会・【第1回プレスコミ】(10月13日)
 - ・東京インキ(株)様による会社、工場、製品の紹介と環境への取組みの説明と質疑応答
- 第2回勉強会・【第2回プレスコミ】(11月10日)
 - ・東京インキ(株)様による主に製品説明と質疑応答
- 第3回勉強会・打合せ会(12月15日)
 - ・当日の進め方(参加者、スケジュール、役割分担、会場レイアウト、その他)の打合せ

リスコミ開催の準備(2)

第4回勉強会【第3回プレスコミ】（1月12日）

会員による当日の意見交換内容の抽出 KJ法を用いて

- 〔事業者〕
- * 化学物質の管理(排出・移動)
 - * 製品と健康
 - * 資源・原料とその安全性
 - * 地域住民とのコミュニケーション
 - * 従業員の健康管理
 - * 予想される緊急事態とそれへの対応
 - * 従業員教育
 - * 省エネ対策
 - * 廃棄物問題
 - * 品質管理
- 〔行政〕
- * 臭気、騒音等で周辺住民の苦情の有無
 - * 本地区での環境モニタリング結果

リスクコミュニケーション当日のスケジュール

- * 13:00 ~ 13:20 開会宣言・挨拶・主旨説明
- * 13:20 ~ 13:30 配布資料確認・出席者紹介
- * 13:30 ~ 14:10 会社及び事業所概要並びに 環境対策概要の説明
- * 14:10 ~ 15:00 工場見学の説明および見学
- * 15:00 ~ 15:10 休憩
- * 15:10 ~ 16:45 意見交換
- * 16:45 ~ 17:00 感想・挨拶

リスコミ風景

平成20年2月13日

東京インキ(株)吉野原工場様



意見交換会



意見交換会



工場見学

会員の感想

*【彩・環境大学通信より抜粋】

・11名の当方参加者全員が質問し、回答を得る形で行われました。

東京インキ殿がリスコミを前向きに捉え、これを更なる改善の契機にでもなさりたいと思えるような対応で評価できるリスコミであったと感じました。

*【会員感想文より】

・化学物質の知識に乏しい私ですが、東京インキさんの丁寧で分かりやすい説明のおかげで、インキへの不安感を取り除くことができました。

・普段何気なく接している印刷インキをいかにして、人体や環境への影響を軽減させるか、さまざまな規制や企業努力の上になりたっていることを改めて認識させられました。

【環境(健康)リスクの低減のためのPR活動】



リスクコミュニケーション
研修会

09.9.25
埼玉県
教育会館



化学物質を考える県民の集い
09.1.27 埼玉会館



第5回埼玉県公開円卓会議
08.1.22 埼玉会館



ストップ温暖化
SAITAMA
フェア
08.10.19
さいたま
新都心駅

* 展示会等への参加実績
年間7回(約10日)(過去1年間)

終わりに

我々はリスクコミュニケーションを推進する
ことを通して

「事業者が製品のライフサイクル全体で環境(健康)リスクの削減を行う」

ことを推進する同時に

「消費者も化学物質の環境(健康)リスクメーカー
であることを認識し、適切な行動を取る」

ことに貢献する